横浜YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.558 2024

YMCA NEWS 10

2024年10月１日発行
（毎月１日・１回発行）
1988年１月27日第３種郵便物認可
定価50円
発行／
公益財団法人横浜ＹＭＣＡ
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町１-７
Tel 045-662-3721
横浜青年

横浜YMCAは創立140周年を迎えます。

2024年10月18日に、横浜YMCAは創立140周年を迎えます。横浜の開港から間もない1884年（明治17年）、横浜海岸教会の５人の青年たちが中心となって横浜YMCAが誕生しました。以来140年間、地域や社会の課題に向き合い、平和な社会を創ることを目指し活動を展開しています。横浜YMCAの歴史をもたらしたのは、それぞれの時代を生きた、多くの人びとの英知と信仰、努力の積み重ねにほかなりません。横浜YMCAは、これからも愛と奉仕の生き方を多くの人びとと分かち合い、人間性が尊ばれ、公正で平和な世界の実現を目指します。2034年（150周年）に向けた「VISION2034」に基づき、地域や社会の課題に取り組み続けていきます。今号では、横浜YMCAの初期からの活動の一部を紹介します。

140周年を迎えて

先達に感謝し、平和をつくる働きを

横浜YMCA常議員会議長　黄　崇子

１８８４（明治17）年に横浜海岸教会の５人の青年が横浜ＹＭＣＡを結成してから１４０年。聖書研究会、講演会、廃娼運動、英語学校やスポーツ、キャンプなどの事業は、戦時のキリスト教弾圧に耐えた時期を挟んで多くのプログラムへ、拠点も神奈川県全域へと広がり、私たちは会員数約１万３千人、４法人を擁する組織となりました。

１４０周年を迎えるにあたり、10月５日に記念礼拝と感謝会を開催します。これまでお支えくださり誠にありがとうございました。

コロナ禍での困難な時を経て、２０３４年に向け私たちは、子育て子育ち、生活のクオリティ向上、ユースエンパワーメントそして持続可能な地球共生社会のため、社会貢献活動を展開します。

「ポジティブネット」は、日本のＹＭＣＡが旗印として掲げる造語ですが、それは１９２３年の関東大震災時に焼失倒壊家屋８割の横浜市内の救護活動の中、先達たちが全国からの応援も得て、人びとのいのちを守るために奔走されたことそのものだったと今、気づきます。

１００年後の現代、神と人とに仕える私たちは国内で地域の人びとと社会の課題を担うことはもとより、１２０の国や地域が加盟する世界のＹＭＣＡを通して、戦禍に苦しむ人びととも痛みを分かち合い平和をつくる働きができるよう日々努めます。

一人ひとりのお働きに感謝して。

140years of HISTORY

1884

1920年代　室内体育館で市民にスポーツを紹介（バスケットボール、バレーボール、体操、バドミントンなど）

1923年　関東大震災時、会館は救護本部に（ボランティアが集まり被災者救援活動）

1930年代～　デンマーク体操や卓球、ウエイトトレーニングなどに多くの人が参加した

1945年　進駐軍によってYMCA会館は接収された

1950年　戦後の青年の心の回復につながった活動 コーラス部の練習（演劇研修会や哲学研究会なども盛んに行われた）

1951年　少年部のキャンプ（80人を超える中学・高校生が活動）

1952年　会館接収全面解除

1978年　光州YMCAとのサッカー交流開始

1984年　創立100周年

1989年　チャイルドケアセンター「ホサナ」開設

1995年　阪神・淡路大震災支援活動（ボランティアとコーディネーターを派遣など）

1994年　創立110周年

2014年　創立130周年
平和の鐘を富士山YMCAに設置
（以降上海・光州にも設置）

2020年　ウエルネスデリバリー（コロナウィルス感染症拡大の中、オンラインでラジオ体操などを実施）

1910年代　YMCA英語学校の授業（私立横浜英語学校の運営を1902年に開始以来多くの青年実業家が学んだ）

1884年　横浜基督教青年会設立（開港間もない横浜で横浜海岸教会の青年により横浜YMCAは設立された）

1924年　辻堂キャンプ開村式　1925年　被災児童のためのキャンプ（辻堂海岸）

1955年　英文タイピストスクール（職業実務学校が開校。珠算、簿記、商業実務英語を学び即戦力として活躍）

1975年　横浜国際青少年センター（現横浜中央YMCA）献堂・落成式（建設にあたっては地元財界人や行政からなる建設募金後援会が発足）。以降県内に拠点がひろがる。

1989年　第1回光州・上海・横浜YMCA協議会開催（横浜にて／以降2年に1度三都市YMCA会議として開催）

2009年　創立125周年（記念事業のひとつ タイ・パヤオセンターから子どもたちを横浜に招待）

2021年　「VISION2034」策定
2024年　第2期中期計画を策定

2022年　SDGsジュニア養成キャンプ（ユースが社会課題を考え行動変容を起こすアクションプランを作成）

2024

※「お米一合運動」 10月1日～31日 各YMCAにて受付中（3面関連記事）

ホドス

横浜ＹＭＣＡは今年10月に創立１４０周年を迎える。これだけ長い間横浜ＹＭＣＡの活動が続いてきたのは、「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」というイエス・キリストの精神を、それぞれの時代に多様な形で表してきたからにほかならないと思う▼私自身の横浜ＹＭＣＡとの出会いは、１９７０年に、横浜市中区にある日本バプテスト横浜教会で、伝道者としての歩みを始めた時、教会の近くにあった横浜ＹＭＣＡと横浜ＹＷＣＡ合同のイースター礼拝のメッセージを依頼されたのが始まりである▼その時の横浜ＹＭＣＡの主事は大藤啓矩さんであった。大藤さんのことで思い出すのは、横浜山手にある外国人墓地の保全に取り組まれたことである。それは、山手の外国人墓地に眠る方々が、幕末の頃から日本に来て、多様な働きをされたこと、しかし、遠い日本までやって来た先達たちを思い起こすこともないことやそれぞれの墓が荒れ果てていくのを見て、何とか維持、管理をしていく働きをしなければいけないのではないかと思い立ち、横浜外国人墓地を維持するための活動をしていく運動を手がけられた。それは、横浜ＹＭＣＡの直接的な働きではないとはいえ、日本の歩みに貢献した方々を思い起こす歩みであったと思う▼大藤さんのように、イエス・キリストの精神を身近なところで表していく先達の歩みの連続の中で横浜ＹＭＣＡが今日まで続いてきたのだと思う。（ま）

YMCA NETWORK NEWS

藤沢 発達障がいの理解 オンライン勉強会

横浜YMCA教育相談センターでは、発達障がいの理解をしようとシリーズで「発達・教育支援プログラムオンライン講座」を行っている。

9月5日には「手帳をもって働くということ」をテーマに開催され、講師の田沼美穂スタッフ（特別支援士）から障害者手帳の種類や障害者雇用の現状について、特例子会社や就労継続支援A型・B型施設など、さまざまな働く場があることなどについて説明があり、参加した23人は、障害者雇用率は上昇してきているが、主流は有期契約社員であるという現状などについて説明を行った。

10月23日（水）午前10時から「発達に課題がある子どもたちの高校の選択」をテーマに開催される。会場はオンライン視聴または藤沢YMCAのどちらかを選択できる。詳細のお問い合わせやお申し込みは4面をご参照ください。

子どもたちに公平な機会を提供 さまざまな学びと体験を

子ども支援（BAPY）基金により 出会いやつながり、学びを豊かに

4 質の高い教育をみんなに

こども家庭庁によると、児童相談所における児童虐待相談対応件数は、30年連続で増え続け、2022年度は21万9170件になり過去最多を更新した。また、文部科学省の2023年度の学校基本調査によれば、高校への進学率は全国で98・7％、生活保護世帯や児童養護施設の子どもたちの進学の割合も上昇している。大学等高等教育機関への進学率は84％で、生活保護世帯や児童養護施設の子どもたちの進学率も上昇傾向にあるが全体の平均よりも低く、格差が生まれてしまっていることがわかる。

神奈川県では、子どもの貧困対策をとして教育の機会の保証・生活の安定・経済基盤の維持など子どもとその保護者に継続的な支援を進めている。

そういった中、横浜YMCAでは、子どもたちが自分の人生を切り拓いていくためにさまざまな機会に参加し、人と出会い、つながりを持つことは大切なことと考え、そのような機会が均等にあるように「子ども支援（BAPY Be A Partner of the Youth）基金」による支援を行っている。YMCAのキャンプや水泳、体操などの諸活動に経済的な理由等により、参加したくてもできない（被保護世帯、非課税世帯、家計急変世帯）、保護者の保護を受けられない青少年に費用の全額または一部を援助しようというもの。

横浜YMCAでは、より多くの子ども支援基金への支援者を募っていこうと取り組んでいる。毎年開催している子ども支援基金のためのチャリティーゴルフでは、この基金の趣旨に賛同する個人や企業、団体などから今年の3月には107人が参加した。参加費とチャリティーホールで寄せられた募金が基金として用いられている。

基金の申請期日は、年間4回あり、現在申請受け付けのプログラムは、冬季プログラム・冬キャンプとなり、申請の締め切りは11月8日（金）までとなっている。申請後には面談を行い、審査結果が通知される。なお、基金の適用者には、プログラム終了後、1週間以内に報告書の提出と面談を行っている。申請書は、ホームページからのダウロードまたは最寄りのYMCAをご利用ください。

▲子ども支援基金により、子どもたちに公平に体験のチャンスがあるように

第11回日本語スピーチコンテスト 日ごろの学びの成果を披露

▲スピーチコンテストに出場した学生を囲んで

横浜YMCA学院専門学校、YMCA健康福祉専門学校日本語学科では、中国・韓国・台湾・ベトナム・インド・フィリピン・タイ・ネパールなど14の国や地域から171人の留学生が学んでいる。学びの成果を発表する機会として、8月30日に「横浜YMCA専門学校第11回日本語スピーチコンテスト」（横浜ワイズメンズクラブ・厚木ワイズメンズクラブ共催）が行われた。各校から5人ずつ計10人が出場した。

スピーチは「生きる道」「挑戦と成長の物語」「私の諦めない同級生」などのテーマで発表があり、最優秀賞に「一人暮らし」と題し、母国を離れ、初めての日本での一人暮らしは不安の中で始まったが、自分を大きく成長させてくれたと述べたコッテアチャリゲチャモディダヌッダラドダンデニヤさん（スリランカ・健康福祉）、優秀賞に「不思議な力」を発表したノドゥマパタバンディゲランディニウィハーラさん（スリランカ・学院）、株式会社共立メンテナンス賞にベビョンジンさん（韓国・学院）、神奈川県青年国際交流機構賞に楊澤琛（ヨウタクチン）さん（中国・学院）が選ばれ表彰された。

Topics

140years of HISTORY 創立50周年記念事業を展開 vol.7

1934年に創立50周年を迎えた横浜YMCAは、会員活動、教育活動の充実を図るとともに50周年の記念行事の準備を行いました。記念事業は「50年記念募金計画」「会員大募集運動」「創立記念祝賀諸集会」でした。

「50年記念募金計画」は、目標額を5万円とし、①建築完成資金に2万円②会館改装資金に1万円③精神文化事業資金に1万円④記念事業資金に1万円として目標を立て、3カ年でこの募金を達成しようと取り組みました。

「会員大募集運動」はこの年の秋から全国のYMCAが5カ年間に1万人の会員募集を行うという計画が立てられていたので、横浜YMCAも年間会員募集計画に参加することになりました。全国YMCAの会員募集は目標を2000人としてこのうちの200人が横浜YMCAの目標でした。50周年の記念事業の一環でもあり「会員は一人の新しい会員を」獲得しようと取り組みました。「創立50周年記念週のプログラム」では、YMCA記念日として基督教講演会「永遠の遺産」が行われたほか、讃美礼拝、体育実演会（箱越、マットワーク、バスケットボール他）、祝賀晩餐会、記念祝賀会などが行われ、会員とともに祝いました。

横浜YMCA創立50周年記念祝賀会（1934年10月18日）▲

ポジティブネットをひろげよう
～今月のよくなる一歩～

わたしらしく、
わたしたちらしく。
（Respect 尊敬心）

♫子育てランド♪ ごはんのパワー

日本人の主食「お米」が収穫の時期を迎えます。米は私たちのエネルギー源となり、たんぱく質・ビタミン・ミネラルも豊富な栄養満点の食材です。コメ不足が心配な今日この頃ですが、秋の味覚と合わせて、おいしい米を食べることができるといいですね。

味なしごはんは、良いことが多くあります。口の中でいろいろなおかずと混ぜながら食べると、唾液がたくさん出て、味を敏感に感じることができ、唾液に含まれるホルモンは脳を活性化させます。

米は子どもの五感も育てると言われています。味覚だけでなく、でんぷんを含むごはんの甘みを、子どもには楽しく味わってほしいものです。よく噛んでごはんを食べてみるとごはんの甘味にも気づけます。

ごはんは腹持ちがよく太りにくい性質もあります。粒状のごはんはエネルギーがじわじわ燃え、腹もちが良く、粉が原料のパンやじゃがいもに比べて太りにくいという特徴があります。ぜひ、ごはんのパワーを感じてください。

（YMCAマナ保育園
栄養士 岩本菜穂美）

横浜 子育て応援マルシェ 親子で交流の機会

横浜市金沢区内にある金沢八景YMCA、YMCAマナ保育園、横浜市金沢区地域子育て支援拠点とここ（運営委託）では、保育事業と連携し、10月27日（日）午前10時から午後3時に、子育て・子育ち支援の一環として「YMCA子育て応援マルシェ」を三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジにて開催する。

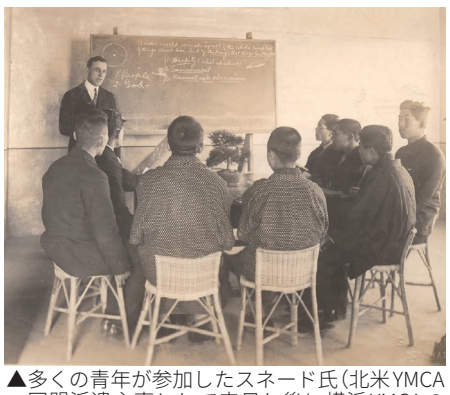
当日はあそび歌作家の鈴木翼さんによるファミリーコンサートやヨット、シーカヤック、野菜の収穫体験などを通して親子で交流できる。市民活動団体の活動紹介ブースもある。申込みは不要。問い合わせは、Tel 045-780-3205へ。

創立140周年をともに祝う 10月5日に記念礼拝・感謝会

140年の歩みと支えに感謝し、今後も地域や社会の課題の取り組みを進める

横浜YMCAは10月18日に創立140周年を迎えるにあたり10月5日（土）に、記念礼拝と感謝会にて行う。これまで支えてくださった多くの会員とこれまでに横浜YMCAとつながりのあった方々とともに感謝と喜びの時を過ごす。

記念礼拝は、午後1時から2時に日本キリスト教会横浜海岸教会にて行われ、上山修平牧師（同教会）により奨励が行われる。1884年に5人の横浜海岸教会の青年が主唱し、横浜基督教青年会として誕生してからの140年の歩みをともに喜び祝う。讃美歌は、団員が全員維持会員で構成されている横浜YMCA混声合唱団の讃美に合わせて参加者とともに歌う。



▲多くの青年が参加したスネード氏（北米YMCA同盟派遣主事として来日し後に横浜YMCAの専任の名誉主事）の英語聖書研究会（1920年）

記念感謝会は、午後3時30分から5時30分に、英一番館（神奈川県立県民ホール6階）にて行われる。横浜YMCA Port Friendsによるハンドベル演奏や140年の歩みを映像やスピーチなどを通して歴史を振り返り、会員やボランティアの働きと支援に感謝し交流する機会とする。

また、スタッフによるSDGs委員会では、10月1日から31日まで「140周年お米一合運動」を呼び掛けている。ひとり米1合をもちより目標140kg（約934合）を集めフードバンクかながわに寄附するプロジェクトを行っている。

横浜YMCAでは、今後迎える150周年に向けた「VISION2034」の取り組みを共に進め、地域や社会に必要とされるYMCAとしての活動をさらに展開していく。

チャリティーランのため横浜YMCA賛助会が異業種交流会を開催

横浜YMCA賛助会は、横浜YMCAの青少年育成や地域の人びとと平和な社会を創ることを目指す目的と願いに賛同し、その活動を経済的、社会的に支援することを目的とした法人による組織である。

9月6日には、賛助会企業が社会貢献活動の一つとして第1回目から参加している横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランのための異業種交流会がイタリアンダイニング・カリーナ（中区）にて開催され54人が参加した。

はじめに、「横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」について事務局の関口努スタッフが説明を行った。続いて、川田茂氏（株式会社崎陽軒）が開会のあいさつを行った。その後の交流会では、名刺ビンゴゲームや交流などが行われ、協賛金のためのチャリティーオークションでは多くの協力があった。関田充央氏（上野トランステック株式会社）からは賛助会の活動紹介があった。最後に、佐竹博横浜YMCA総主事が日ごろの賛助会企業からの支援・協力と今回の準備・運営にあたった幹事会社に感謝の言葉を述べた。

▲異業種交流会に参加した賛助会企業の皆さま

保育士・学童指導員が災害時の子どもの心身の回復の支援を学ぶ

災害時における子どもの心身の回復・日常生活を取り戻すために欠かせない支援について学ぼうと「子どもにやさしい空間」について学ぶ研修会（主催 神奈川県ユニセフ協会・共催 横浜YMCA）が横浜中央YMCAにおいて行われ、子どもに関わる保育士や学童クラブの指導員など27人の参加があった。

第1部では、臨床心理士の本田涼子氏・高橋布美子氏両名から「子どもにやさしい空間」の理念を学んだ。第2部のワークショップでは「子どもたちの状況や周りの環境を把握しよう」「どんな活動ができるか考えよう」「場所や設備を考えよう」「人材を確保し運営してみよう」「活動を振り返り改善しよう」の5つのステップについてグループワークを通して取り組み、「子どもにやさしい空間」の設置・運営の具体的な方法、遊びを通して子どもの心のケアを行う方法を実践的に学んだ。

▲子どもの心のケアを行う方法を学んだ

ひとかき 天の神様の言う通り

総主事 佐竹　博

ウインクキラーというグループゲームをご存じでしょうか。実施方法は様々ですが、代表的な例で紹介すると、参加者はお互いの顔が見えるように円になります。ひそかに選ばれた「キラー」役が参加者の中にいて、キラーからウインクされたらゲームから離脱（例えば「しゃがむ」など姿勢を変える）、参加者たちはウインクされる前にキラーを見つけるというゲームです。

ある日の新聞投稿欄に寄稿したデイサービスに通っているという高齢者は「ルールはわからないがウインクキラーというゲームの時間が楽しい」と書いていました。

私は、先日参加したあるプログラムでこのゲームに何十年ぶりに出会いました。ファシリテータは「…ウインクして殺してください、殺された人は寝そべってください」と説明していました。

久しぶりといえばもう一つ。「どちらにしようかな♪」というフレーズを耳にしました。各地の特徴があるそうですが、私が聞いたのは「♪天の神様の言う通りなのなのな」でした。聞いたことがあるフレーズでしたが、「天の神様の言う通り」ではなく、暴力で解決すること。先のゲームでも楽しく遊びながらも「殺す・殺される」を簡単に言葉に出してしまうこと。あまりにも身近に平和を脅かす言葉があるのでしょうか？立場がセンサーを敏感にさせているのでしょうか？そんなことを口にするのはうっとうしいと思われるでしょうか？いえいえ「天の神様の言う通り」です。

が付く「♪天の神様の言う通り♪」がなじみ深いです。昔から日本中の子どもたちが「天の神様の言う通り」と口ずさんできたのはすごいことだと思います。しかし残念なのが、どちらかに決めるのに最後は「鉄砲撃ってバンバンバン」で、「天の神様の言う通り」ではなく、暴力で解決すること。先のゲームでも楽しく遊びながらも「殺す・殺される」を簡単に言葉に出してしまうこと。あまりにも身近に平和を脅かす言葉があるのでした。考えすぎでしょうか？立場がセンサーを敏感にさせているのでしょうか？そんなことを口にするのはうっとうしいと思われるでしょうか？いえいえ「天の神様の言う通り」です。

FLASH NEWS

横浜YMCAが主管となり、2025年8月に横浜を会場に開催する三都市YMCA会議・ユースキャンプ（上海・光州・横浜）を開催するにあたり、横浜YMCAでは職員による準備委員会を設置し、準備を進めている。9月12日には、第4回準備委員会を開催し、テーマなどについて協議を行った。25日には、上海YMCA、光州YMCA、横浜YMCAの三都市YMCAの総主事定例ミーティングがオンラインで開催され、各都市YMCAの近況報告や準備の進捗状況について報告を行った。

横浜YMCA混声合唱団の第59回定期演奏会が10月9日（水）午後6時30分（6時開場）にみなとみらい小ホールにて開催される。曲目は、JOHN RUTTER作品集、ラシーヌ賛歌他宗教曲小品集、混声合唱曲集など。団員は横浜YMCAの維持会員で構成されている。詳細はQRコードをご覧ください。

ワイズコーナー 奉仕と親睦 横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

ワイズメンズクラブはYMCAに対する奉仕団体であると同時に、親睦団体であります。横浜つづきクラブは会員大会、横浜YMCAフェスタ、チャリティーラン、バザーなどYMCAのさまざまな行事に参加、協力するとともに、地域活動としては、障がい児・者とともにクラシック音楽を楽しむYou＆Iコンサートを開催しています。

親睦の面では、毎月の例会の後には、原則全員で近くの飲食店等での会食を行い、会員間の交流を深めています。また、年に1回は他のクラブをお誘いし、富士山YMCAなどへのバス旅行を楽しんでいます。

（横浜つづきワイズメン＆ウィメンズクラブ　会長　鈴木　茂）

横浜中央YMCA	Tel 045-662-3721
横浜北YMCA	Tel 045-433-4321
藤沢YMCA	Tel 0466-26-1151
横須賀YMCA	Tel 046-854-5126
川崎YMCA	Tel 044-932-2031
厚木YMCA	Tel 046-244-4181
鎌倉YMCA	Tel 0467-24-7859
YMCA山手台センター	Tel 045-813-1022
湘南とつかYMCA	Tel 045-864-4768
金沢八景YMCA	Tel 045-782-3003
YMCA東とつかセンター	Tel 045-392-3747
大和YMCAライフサポートセンター	Tel 046-264-3192
横浜YMCAワークサポートセンター アンジュ	Tel 045-867-0090
横浜YMCAワークサポートセンター レザン	Tel 045-860-5252
YMCAあつぎ保育園ホサナ	Tel 046-222-8619
YMCA山手台保育園アルク	Tel 045-813-1022
YMCAとつか保育園	Tel 045-870-3663
YMCAマナ保育園	Tel 045-790-3588
YMCAとつか乳児保育園	Tel 045-870-3235
YMCAつるみ保育園	Tel 045-500-5030
YMCAかわさき保育園	Tel 044-520-1825
YMCAいずみ保育園	Tel 045-800-3010
YMCA東とつか保育園	Tel 045-820-5588
YMCA東かながわ保育園	Tel 045-440-3763
YMCAたかつ保育園	Tel 044-281-7833
金沢八景YMCA保育園	Tel 045-353-5130
YMCAオベリン保育園	Tel 042-707-9974
大和YMCA保育園	Tel 046-214-3192
富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ	Tel 0544-54-1151
三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ	Tel 046-888-2100
鶴見中央YMCA	Tel 045-508-7800
YMCAライフサポートセンター鶴見	Tel 045-506-0131
本部事務局	Tel 045-662-3721

INFORMATION

横浜YMCA

●新型コロナウイルスの感染・拡大防止のため、イベントを延期・中止させていただく場合があります。（参加費は税込み）

レクチャー

■イングリッシュセミナー

日　時　10月18日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA・オンライン（Zoom）
テーマ　THE NEW BHARAT
ゲスト　ミハク・ジェインさん（インド）
参加費　会員1,200円、一般1,500円
申込み　kamakura_info@yokohamaymca.org
問合せ　鎌倉YMCA　Tel 0467-24-7859
〇インドの言語、祭り、名所、科学技術の変化、社会問題などについて学びます。

■多文化共生を考える講座　映画＆振り返り会

日　時　10月26日（土）午前11時～午後2時
会　場　横浜中央YMCA
参加費　1,000円
申込み　QRコードまたはHPにて
問合せ　横浜YMCA国際・地域事業
kokusai@yokohamaymca.org

キリスト教理解

■とつか聖書を学ぶ会

日　時　10月10日（木）午前10時30分～11時30分
会　場　湘南とつかYMCA4階404教室
テーマ　聖書を楽しく学ぼう
講　師　堀野浩嗣氏（横浜戸塚バプテスト教会牧師）
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA　Tel 045-864-4768
ymsports@yokohamaymca.org

イベント

■発達・教育支援プログラム「発達障がい理解講座2024」

日　時　10月23日（水）午前10時～10時45分
会　場　藤沢YMCAまたはオンライン
内　容　発達に課題がある子どもたちの高校の選択
申込み　QRコードからお申し込みください。（参加費無料）
後　援　横須賀市教育委員会、（福）横須賀市社会福祉協議会、藤沢市、藤沢市教育委員会
協　力　横須賀基督教社会館、衣笠病院
問合せ　横須賀YMCA
〇将来に向けてともに考えていきましょう。

■English Camp for Global Leadership

中高生イングリッシュキャンプ
日　時　12月26日（木）～28日（土）2泊3日
対　象　中学2年～高校3年生（英検3級程度が目安となります。ご不安のある場合はご相談ください）
会　場　国際青少年センターYMCA東山荘（静岡県御殿場市）※現地集合・解散
参加費　旅行代金　59,400円（税込み）※現地までの交通費は含みません。
説明会　10月5日（土）、11月2日（土）午後2時から3時（オンライン）にて行います。QRコードからお申し込みください。
問合せ　横浜中央YMCA英語学校
Tel 045-641-5492
〇全国の中学生・高校生が英語でのコミュニケーションの楽しさを知り、積極的にグローバルな課題に目を向け、自ら考え行動できる地球市民の育成を目指すプログラムです。ぜひ参加ください。

子育て支援

■プレママDay

日　時　10月22日（火）午前10時～11時
会　場　金沢区地域子育て支援拠点とことこ
対　象　第1子妊娠中の方
内　容　タッチケア体験とおしゃべりタイム
問合せ　金沢区地域子育て支援拠点とことこ
Tel 045-780-3205

■横浜子育てサポートシステム入会説明会

日　時　10月15日（火）午前10時～11時
26日（土）午後1時30分～2時30分
会　場　中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
対　象　横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
問合せ　横浜子育てサポートシステム中区支部事務局　Tel 045-663-0676

学校説明会

■YMCA健康福祉専門学校

日　時　10月5日（土）、19日（土）午前10時～/午後2時～
内　容　入試＆学校説明会
申込み　Tel 046-223-1441
詳　細　QRコードをご覧ください。

■横浜YMCAスポーツ専門学校

日　時　10月*5日（土）、6日（日）、12日（土）、*19（土）、*26日（土）、27日（日）
午前10時～/*午後2時～ *は午後のみ
内　容　学校・入試説明会
申込み　Tel 045-864-4990
詳　細　QRコードをご覧ください。

■横浜YMCA学院専門学校

日　時　10月5日（土）、19日（土）午前9時50分～12時
内　容　国際情報ビジネス科学校説明会
申込み　Tel 045-661-0080
詳細はHPまたはQRコードをご覧ください。ご都合が合わない場合はご相談ください。
※入学試験 10月5日（土）、19日（土）
〇各専門学校では、入学試験を実施しています。入試情報はHPをご覧ください。

パリパラ種目ボッチャを体験 みどりクラブ

9月2日に、第20回みどりクラブは十日市場地域ケアプラザにて行われ、パリ・パラリンピック種目のひとつボッチャの体験（協力 横浜市緑スポーツセンター）が行われました。会場にはボッチャのコートが設置され、参加者全員がはじめてボッチャに取り組みました。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールにどのように当てようかと戦術や相手との駆け引きをするなど楽しく取り組みました。このほか、よさこい音頭を皆で輪になって踊り、交流の時を持ちました。

タイ・パヤオセンターの子どもたちと交流 聖光学院中学高等学校吹奏楽部

聖光学院中学高等学校吹奏楽部では、毎年12月にチャリティーコンサートを開催し、横浜YMCAを通じてバンコクYMCAパヤオセンターの子どもたちを支援していただいています。8月24日には、吹奏楽部の皆さんとパヤオセンターの子どもたちがオンラインで交流の時を持ちました。最初は緊張気味でしたが、子どもたちによる踊りや吹奏楽部による演奏により和やかな雰囲気になりました。質疑応答も活発に行われ、楽器の紹介ではそれぞれの楽器を画面に映し出し、音を出すと子どもたちから歓声があがりました。

140years of HISTORY

横浜YMCAは2024年10月に140周年を迎えます。140年のあゆみを写真で紹介します。

▲第4回全神奈川四人制排球大會にて男女ともに優勝（1934年4月）

My Story 177

多くの方からのサポートに感謝 出会いと学びから成長感じる

横浜YMCA国際・地域事業 ウクライナユース　カテリーナ・ポプロジュク

私は、2022年7月から横浜YMCAで働き始め、そこでウクライナ支援に取り組んでいるウクライナの人に出会いました。私が初めて横浜に引っ越した時には、ウクライナの人には一人も会えませんでした。YMCAで働くようになったおかげで、日本に住む多くのウクライナの人と知り合うことができ、つながることができました。

横浜市緑区十日市場地域に住むウクライナの人たちが、地域を知り交流する居場所「みどりクラブ」では、多くのウクライナの人や日本人と知り合うことができ、私にポジティブな影響を与えてくれました。

2023年4月からは、YMCA Global Kindergarten-Science club（英語幼児園）で日本の子どもたちと活動しています。この時期に子どもに関わる仕事に携われたことをうれしく思います。大変ですが、いつも面白く、楽しく、子どもたちから元気をもらっています。日本語は難しいですが、このような環境の中で、少しずつ進歩していると実感しています。日本語もYMCAで勉強したので、これもYMCAを通して支えていただいている皆さんのおかげです。

子どもたちや大人たちとコミュニケーションをとり、平和を守ることの大切さについて話す機会が多くありました。また、さまざまなプロジェクト（子どもたちのためのサマーキャンプ、横浜市などと協働したユースイベント「I love Yokohama as well as my hometown」など）に取り組むことで、ウクライナ人も日本人も一緒に楽しみながら新しいことを学ぶことができました。

私はウクライナの大学でメディアプロデュースを学んでいました。YMCAを通して、さまざまなプロジェクトを企画することは、将来に向けて自分自身の専門スキルを身につけることにも役立ちます。

YMCAは私にとって学習と成長できる場となっています。ここで働いている間、私は言語や専門スキル、日本文化など多くのことを学んでいます。横浜に住むウクライナの人たちを支援することができてとてもうれしく思っています。

成長は成功の鍵であり、成長をサポートできるこのような場＝YMCAがあることは素晴らしいことだと思っています。

▲ユースプロジェクト「ウクライナ・横浜ユース写真展＋トークイベント」に参加したユースの皆さんと（2列目右から2人目/2023年11月）

▶デスクペン　創立140周年を迎えます。多くの皆さまのお支えに感謝いたします。10月は障がいのある青少年を応援する「横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」がオンラインとリアル大会（19日）にて開催されます。応援にぜひお越しください。（直）